

国際シンポジウム International Symposium on Wireless Sensor Networks 2014

開催日：6月27日（金）09：40～17：35（講演） （17：40～19：10 懇親会）

開催場所：東北大学 東京オフィス (<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/bun/bun.html>)

主催：2014 年度通研共同プロジェクト研究会, Worcester Polytechnic Institute, and Center for TeleInfrastruktur (CTIF)-Japan, Aalborg University

使用言語：英語（日本語の質問を歓迎します）

〈概要〉ワイヤレスセンサーネットワークは無線通信の研究・開発で最もホットな研究エリアの一つです。本シンポジウムは基調講演に無線 LAN 開発の創始者の一人である **Kaveh Pahlavan 教授** を WPI (Worcester Polytechnic Institute) から迎え、“**From WLAN to Wi-Fi Localization - Evolution of a Revolutionary Technology**”と題して、講演いただきます。また、現在 IEEE にて標準化が進行中の TV White Space を利用した長距離無線通信システム, IEEE802.22, 既に標準化が完了し、伝送距離数 100m の短距離メッシュネットワークを構築・展開中の IEEE802.15.4g (WiSUN) についての講演いただきます。さらに、ワイヤレスセンサーネットワークのコア技術と応用、センサーネットワークの究極の目的であるスループットをあげるための“センサノード検出と通信リンク確立手法”、及び”Clustering 技術”について発表いただきます。

本シンポジウムは、従来方式の約 10 倍のカバレッジ半径(100 倍の広さ)を実現する「900 MHz 帯を用いた半径 5 km の広域センサネットワーク」構成技術・フィールド実験結果、高利得基地局アンテナの実現方法、および、スタートポロジータンセンサネットワークの周波数利用率がメッシュネットワークよりも高く、干渉が予想される ISM バンドでの運用に適していることを報告し、会を閉めます。

09:40 – 12:00

開会の挨拶：教授 加藤 修三（東北大学 電気通信研究所）

基調講演：Prof. Kaveh Pahlavan (Worcester Polytechnic Institute, USA)

講演 1：Prof. Hiroshi Harada (Graduate School of Informatics, Kyoto University, Japan)

講演 2：Prof. Shigenobu Sasaki (E and E Engineering, Niigata University, Japan)

講演 3：Prof. Yeo Kiat Seng (Nanyang Technological University, Singapore)

13:00 – 15:30

講演 4：Prof. Alben Mihovska (CTIF, Aalborg University, Denmark)

講演 5：Prof. Jong-Moon Chung (Yonsei University, Korea)

講演 6：Mr. Yasutaka Tada (RIEC, Tohoku University, Japan)

講演 7：Dr. Yosuke Sato (RIEC, Tohoku University, Japan)

講演 8：Dr. Tuncer Baykas (RIEC, Tohoku University, Japan)

16:00 – 17:35

パネル討論：総合司会 教授 加藤 修三（東北大学 電気通信研究所）

パネリスト：講演者全員

参加費：1,000 円（懇親会費は 一般 3,000 円、学生 1,000 円を別途頂戴致します）

参加申込・問い合わせ先：東北大学電気通信研究所 加藤研究室（相澤なお実）

TEL:022-217-5477, FAX:022-217-5476 Email: katolab@riec.tohoku.ac.jp

（席に限りがありますので、登録はお早めに）